

2019年度事業計画 〈重点方針と施策〉

2019年6月1日

総会資料

特定非営利活動法人人間中心設計推進機構
(HCD-Net)

2019年度のHCD-Netの活動方針（従来の振り返り）

◆HCD-Netのミッション

人間中心設計に関する学際的な知識や経験を集め、人間尊重の英知を産学を越え束ね、人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する。

- 多くの人々が便利に快適に暮らせる社会作りへの貢献
- 経済の発展への寄与
- 豊かでストレスのない実りある社会の実現

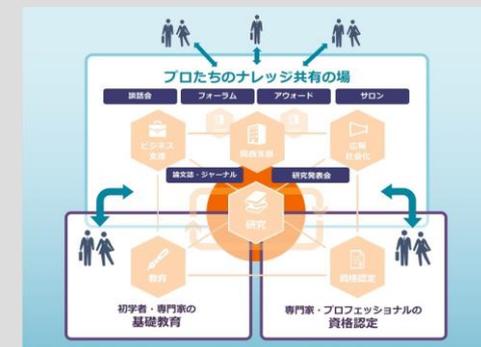
◆従来の中期目標（2017～2019年）の再確認

1. HCD/UXDを活用すべき人達・コミュニティとの連携の比重を増やすこと（新たなコミュニティ作りも含める）
2. 機構組織運営の透明化の向上（資格認定組織の独立運営、個人情報管理）
3. 産業普及率を測る尺度の獲得
4. 学術会議への登録
5. 数値目標：会員数 - 910人、専門家数 - 620人

2019年度のHCD-Netの活動方針

◆ 2019年度の事業方針：従来目標の完遂と一層の進展（2017年度中期目標に対応）

1. 「HCD/UXDを活用すべき人達・コミュニティとの連携関連」に向けた関連分野からの注目が集まるコミュニティ形成としての活動へ
2. 「機構組織運営の透明化」に向けた新しいメンバーを積極的に迎え入れた理事会、評議委員、各事業部・委員会の運営へ
3. 「産業普及率を測る尺度の獲得（HCDの産業内普及率など）」に向けた事業部活動（ex. ビジネス支援事業部）の展開へ
4. 「国立の科学技術情報の電子ジャーナル出版プラットフォーム（J-STAGE）への登録」に向けた事業部活動（ex. 研究事業部）の展開へ
5. 「数値目標 - 会員数:910人、専門家数:620人」の早期達成と運営体制の整備へ
 - 現会員数:735人（2019年3月末現在）、
 - 現資格保持者数：専門家561人／スペシャリスト282人（2019年3月末現在+2018年度合格者）
 - 累計合格者数：専門家632人／スペシャリスト353人



2019年度のHCD-Netの活動方針

◆ 2019年度の事業方針：重点目標

- 関連分野からの注目が集まるコミュニティの形成に向けて：
 - アワードのリニューアル
 - 情報発信の拡充（ウェブのリニューアル、コンテンツの拡充）
 - 基礎スキル認定（仮称）の検討と開始
- 本領域唯一の団体としてのより一層の信頼性確保に向けて：
 - 専門教育の定常的な提供
 - 研究活動の定常的な実施と研究活動のための環境整備（論文の認証団体への登録等）
 - 専門家認定センターの運営体制の整備
 - ビジネス関連領域（経営層、中間層・現場層、関連団体）への有効な情報の提供
 - 地域への啓発活動
 - 中小企業に向けた啓発活動の検討
 - 海外諸団体との諸連携活動に向けた検討
 - 倫理規定の準備と策定
- 各事業部の活発な活動の促進に向けて：
 - 各事業部活動への参加メンバー & 主要メンバーの増強
 - 事業部間活動の促進
- 次期中期目標（2020～）の策定

2019年度の重点方針と重点実施項目

研究事業部

2019年度重点方針

人間中心設計導入に関する様々な知識や方法を適切に提供する一環として、研究事業部では人間中心設計に関する研究活動の活性化を図ることを中心的目標として、機構誌掲載論文数の増加と論文執筆力の向上を図るための施策を実施するとともに、SIG活動の活性化とSIG活動の成果の積極的な発信を図る。

2019年度の重点実施項目と目標

▶重点実施項目：

- メンター制度の試行，実施（目標：研究の内容は論文に値するものの、執筆力に欠けるために論文として掲載が叶わない論文に対して、執筆のサポートを行う制度を試行し、制度化を目指す）
- 論文執筆講座（調査編，実験編，レビュー編，事例編）
- 機構誌のJ-stageへの登録申請を行う
- 各SIG活動のより一層の活性化を図るとともに、活動成果を研究発表会、機構誌のいずれかを通じて、定期的に発信する（年度中最低2回）
- 前年度同様研究発表会を年2回開催するとともに、年間発表件数を50件に増加させる（2018年度42件）。
- 機構誌を年2回発行し、掲載論文数を10件(2018年度年1回発行，掲載4件)に増加させる。

2019年度の重点方針と重点実施項目

教育事業部

2019年度重点方針

- ・ HCDに関する知識の継続的提供。特に今年度は、次の3つに注力する。
 - ・ 企画するためのUXデザイン
 - ・ 作るための情報アーキテクチャー
 - ・ 確かめるためのユーザビリティ

2019年度の重点実施項目と目標

- ◆ HCDの基本についての体系的セミナー実施
 - ①UXデザインについて体系的に学べるセミナー（名古屋）
 - ②HCDコンピタンス発揮のために必要な知識に関するセミナー再編（東京）
- ◆HCD普及・啓発活動
 - ①HCD初心者向けセミナー（全般・ユーザビリティ・IA）
 - ②より多くの人に届けるためのウェビナー等の試行

2019年度の重点方針と重点実施項目

広報社会化事業部

2019年度重点方針

- 新しいHCD-Netコミュニケーションの実践
 - 2018年度の検討に基づき、コミュニティ形成のための活動を実施する。

2019年度の重点実施項目と目標

- HCD-Net コミュニケーション施策実施
 - ケーススタディコンテンツ
 - Q&Aコミュニティ
 - イントロダクションコンテンツ
- HCD-Netサロン
 - 6回の開催を予定
- アワードの実施
 - 表彰対象の整理・評価の枠組再設定
 - 応募数の増加
 - 応募内容・審査結果の効果的な公開・認知拡大
- 広報マテリアルのアップデート
 - アニュアルレポート
 - カタログのアップデート
 - ウェブサイトのスマホ対応と外部メディア活用/連携

2019年度の重点方針と重点実施項目

関西支部

2019年度重点方針

- ◆実践に役立つ講座を実施する。
 - ・参加比率の高いメーカーエンジニアをメインターゲットとする。
 - ・実践事例を共有することにより、さらなる実践数の増加を図る。

- ◆実践数を増加させる土台として参加者の裾野を広げる。
 - ・首都圏以外の地方での講座の開催
 - ・幅の広いテーマによる関西フォーラムの開催
 - ・無料を含めた参加しやすいイベントの開催
 - ・学会発表等での啓発

2019年度の重点実施項目と目標

- | | |
|------------------|----------|
| ・ HCD実践事例発表 | 5件以上 |
| ・ イベントの年間参加者 | 延べ700名以上 |
| ・ 京阪神以外でのイベントや発表 | 3回以上 |

2019年度の重点方針と重点実施項目

ビジネス支援事業部

2019年度重点方針

- ◆ 各委員会の活動を通じてHCD専門家の活動を支援し、開発現場でのHCD/UXDの浸透を目指す

2019年度の重点実施項目と目標

- ◆ 運営委員会
 - ・ 各委員会の活動内容の情報共有 ・ 開発系諸団体とのネットワーク構築
 - ・ 運営委員会主催各種セミナー企画
- ◆ 経営層向け支援委員会
 - ・ 「新規事業開発を利用者視点で成功させるための提言」の発行及び、成果報告セミナー開催
- ◆ 中間層向け（+現場向け）支援委員会
 - ・ HCD導入パターンWG活動 ・ 中間層向け支援小冊子発行及び解説セミナー開催
 - ・ 現場向支援活動の企画検討
- ◆ 関連団体連携委員会
 - ・ UXDQセミナー共催（3回） ・ 「セキュアなUIWG（仮称）」でのCCDSとの連携
 - ・ 「HMI性能公的評価制度（仮称）検討会」主催
 - ・ 「国際標準化活動促進の連絡会議（仮称）」での「JISZ8530委員会」との連携
- ◆ 利用品質メトリクス委員会
 - ・ ワークショップ（キット改定）開催 ・ 談話会開催 ・ 東海大辛島研究室との連携

2019年度の重点方針と重点実施項目

専門資格認定センター

2019年度重点方針

- 専門家（第 11 期）・スペシャリスト（第 7 期）の試験制度の維持向上
- 専門家・スペシャリストの更新審査（第 2 期, 第 5 期, 第 8 期）の維持向上
- HCD 基礎スキル認定制度（検定）の立ち上げとその背景となる知識体系の精緻化
- 専門家・スペシャリスト審査の精度向上のため、コンピタンス理解促進

2019年度の重点実施項目と目標

- 新メンバーを加えて資格制度の活動の安定化と拡大
- HCD 基礎スキル認定制度：研修カリキュラム、認定試験のトライアル
- HCD 基礎知識の体系の精緻化：体系マップ
- コンピタンス記入例の見直しと位置づけの明確化
- 受験者負担軽減のため、申請書のシステム見直しに着手

2019年度の重点方針と重点実施項目

事務局

2019年度重点方針

- ・理事会・各事業部・認定センター・委員会・WG・SIGの諸活動を継続的に支援し、スムーズかつ透明性の高い活動となるようサポートを強化する。

2019年度の重点実施項目と目標

◆ 基盤強化のための取り組み

- ①個人情報保護法に沿った運営体制の明示と遂行
- ②四半期収支報告（理事会での年4回報告）の継続実施
- ③スタッフ間での事務局業務共有とフォロー体制強化

◆ 付加価値向上のための取り組み

- ①諸活動活性化のためのオンライン会議およびウェビナー実施に向けた環境整備
- ②会員およびHCD専門資格保持者の動向調査・分析の実施